



Deepdetector®

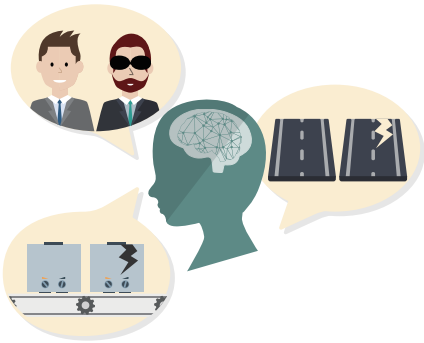
人の「目」による判断を AI 化する Deep Learning 画像認識プラットフォーム

サービス概要

画像認識 AI「Deepdetector(ディープテクター)」は、人の「目」による判定・判別作業工程をもつさまざまな業種・業態において、AIによる自動化・省人化を可能にします。特に、特定対象物の監視・検閲、トンネルや建物などのインフラ劣化診断、製造業における外観検査などの分野で高い評価を得ています。

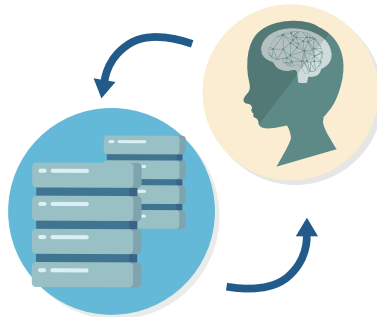
特長 1 簡単にあなたの AI を作れる！

現場の画像認識作業の観点は多種多様。簡単操作で日々繰り返し学習でき、現場の観点へチューニングしていくことができます。



特長 2 柔軟にシステムと接続できる！

柔軟に接続ができる API を具備。これから導入するシステムはもちろん、今お使いのシステムとも連携が簡単ができます。



特長 3 さまざまな場所で利用できる！

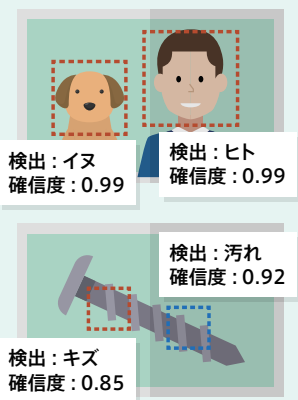
インストール版、クラウド版があり、工場内や外出先環境など、場所を選ばず多くのビジネスシーンで利用できます。



特長 4 ビジネス課題に合わせて判定パターンを選択できる！

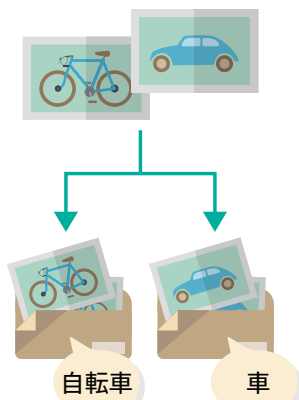
① 検出型

対象を検出する



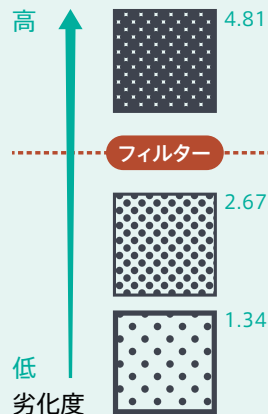
② 分類型

カテゴリを選ぶ



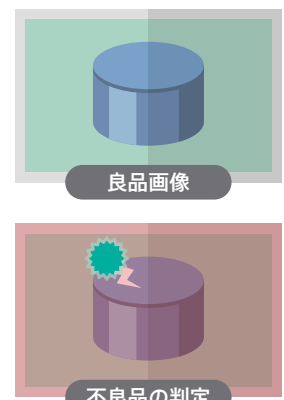
③ レベル判定型

度合いを数字で表す



④ 正例判定型

良品の学習から異常個所を特定



利用イメージ

CASE 1



- ? 製品の検査をする観点に個人差があるため、検査品質にバラつきがある。
- !! AIに検査の観点を学ばせることで人手を補い、常に一定の品質で製品の検査ができます。

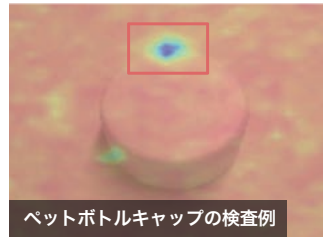


- ✓ 検査対象に応じた学習を実施することで、チェックしたい観点で検査することができます。

CASE 2



- ? 不良品画像が集められない、新しい製品ができるたびに、学習用画像を大量に集めることができない。
- !! 少数の良品画像を学習することで、不良品を見分けることができます。



- ✓ 不良品の画像がなくても判定を行うことができます。
- ✓ 良品の画像にはタグをつける必要はありません。

CASE 3

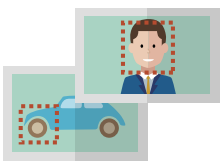


- ? トンネルや建物、鉄塔などインフラの劣化を調査するのは大掛かり。もっと効率的に把握して、予防保全や回復措置を行いたい。
- !! 専門家の観点を学習させることで1次点検を自動化し、フィールド点検作業にかかる稼働を削減します。また、ドローン等と組み合わせることで、危険を伴う作業を最小限に留めるということもできます。



- ✓ 点検作業時に撮影している画像を利用して判定を行うことが可能です。
- ✓ 目視で判断していた劣化度を数値化します。閾値を調整することで合否の境界を柔軟に設定できます。

CASE 4



- ? 監視カメラ画像やインターネットのアップロード画像から特定の対象物を自動で監視・検閲したい。
- !! 日々蓄積される画像から特定の対象物が写っている画像と位置を自動検出できます。不審者の検出や不適切画像の検出などに利用できます。

- ✓ 監視カメラのような画像映像でも、フレーム分割し静止画として切り出すことで識別できます。
- ✓ 汎化能力があるため、特定の角度から撮影された画像でなくても識別できます。

CASE 5



- ? 大量な画像の適正チェック作業が大変。人によって、チェックする品質も異なり統一することが困難。
- !! チェック作業を効率化し、さらにチェック品質も統一化できます。

- ✓ 24時間連続でチェックが可能のため、大量な画像を処理することができます。
- ✓ 長時間の連続作業でも、チェック品質が劣化することなく常に一定です。

※製品およびサービスの内容は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 ※「Deeptector」は、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。
 ※「SmartCloud(スマートクラウド)」、「SmartCloud」ロゴは、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。
 ※画像はあくまでイメージです。学習の状況や入力画像により結果が異なる場合があります。
 ※その他、記載されている社名、商品名などは、各社の商標または登録商標である場合があります。

「Deeptector」の詳細は WEB で

NTTコムウェア Deeptector



NTTコムウェア株式会社

〒108-8019 東京都港区港南 1-9-1 NTT品川TWINNS アネックスビル
 URL: <https://www.nttcom.co.jp/>



2018.09
 VS 2.1